

# 放課後等デイサービス評価 公表

NPO法人レスパイトケアはちもり 児童クラブすがの

指定:平成24年7月 定員:10名

評価実施期間: H30.11.20~H30.12.10

実施方法: 職員による自己評価を実施したものを職員会議にて集約

集約者: 管理者 上嶋 浩視

## I. 自己評価

		項目	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	民家を改修した建物であるため、区画割りに制限ができてしまう。すぐというわけにはいきませんが、法人を通じて建て替えや移転の検討を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	個別の支援が必要な児童が多い日などは職員の手が足りないと感じています。応援の職員を配置するなどして対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	現在の建物は民家を改築したものであり段差が多く、築年数もかなり経っています。建物自体に限界を感じている。建て替えなどは今後の大きな課題となっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参加しているか	定期的な職員会議の中で業務について話し合う機会を設けています。職員からのさまざまな意見もあがるようになってきているように感じます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	保護者の方からいただいた意見を業務改善につなげられるように取り組んでいきたいと思います。
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	自己評価の結果は法人のホームページ上に公開いたします。 “レスパイトケアはちもり”で検索してください。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在のところ保護者等へのアンケートの他、第三者評価を利用する予定はありません。

	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	法人全体での研修の機会は年に4回あります。その他、個人のレベルに応じた研修への参加や資格取得のための研修への参加など機会の確保のため勤務の調整や費用の補助等の整備を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別支援計画(放課後等デイサービス計画)を立てる上でのアセスメントの重要性を理解したうえで、児童、保護者のアセスメントを実施しています。
	10	子どもの適応行動の状況を測るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	現在使用しているアセスメントシートは他事業所(成人含む)と共通のものとなっている。児童用のアセスメントシートの作成を行い、児童の特性に応じたアセスメントを行えるようにしていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	活動の立案をチームで話す機会を増やし、よりよい活動ができることを目指しています。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	同じ活動が続かないよう、季節や利用児童、人数、職員配置の状況に応じて日々の実施プログラムを変更する等に努めています。 今回の保護者の方からの要望も活動に取り入れていきたいと思ひます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を含め細やかに設定して支援しているか	アセスメントから児童ごとの課題を抽出し、それぞれに応じた目標や支援内容の設定を行うように努めています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	少人数で活動できるように2つのグループに分かれるなどしています。個別の課題にも対応できるよう計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	活動プログラムの担当や個別対応の担当職員を決めて支援にあたっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	支援終了時は送迎に出ている職員も多いため、当日に打ち合わせを行うことは困難です。業務日誌や個別記録を活用するなど振り返りの共有が出来るようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	日々の支援の記録を残しています。内容は今後より具体的に、支援の振り返りのもととできるように見直していきます。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	最低限、6ヶ月に1度は計画の見直しを行っています。その他にも状態が大きく変化したときなど必要に応じて計画の見直しを行うように努めています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、合わせて支援を行っているか	ガイドラインの基本活動のうち、自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供を組み合わせ、合わせて支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	サービス担当者会議へは、基本的には児童発達管理責任者が参加しています。必要に応じ日常的に支援を行っている職員が参加することもあります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	松本養護学校が毎年年度初めに開催している全体会議に参加。また、学校主催の支援会議にも可能な限り参加し、情報交換や支援方法の共有などを行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等との連絡体制を整えているか	現在、医療的ケアが必要な児童の利用はありません。設備や人員配置の関係で医療的ケアが必要な児童の受け入れはかなり限定されると考えられます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	利用開始前の支援会議等で情報共有の機会があります。その他は必要に応じ、情報の照会に努めます。
	24	放課後等デイサービスから福祉サービスに移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	卒業とうにより、放課後等デイサービスから福祉サービス等へ移行する際には移行会議等へ参加し経過等の情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	必要に応じて療育コーディネーター等と連携しています。また、自立支援協議会の行う研修に職員が参加できるように環境設定を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との連携や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在のところ、児童クラブすがのと児童館や他センターとの交流の機会には特に設定していません。また、交流の機会を希望されない方もいらっしゃるため今後も慎重に考えていきたいです。
	27	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	法人として自立支援協議会へ参加しています。

	28 日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送り迎えの保護者の方への受け渡し時に様子を伝えるとともに、利用時の状態を連絡ノートに記入し、保護者のもとに残るようにしています。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	保護者の方からの相談は随時受け付けております。その中でエンパワメントにつながればと思います。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	見学に来られた際や、利用申し込み時に重要事項説明書をもとにした説明をおこなっております。また、運営規程や重要事項説明書の抜粋は施設入口付近に掲示しております。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者の方からの相談は随時受け付けております。また、必要に応じ関係機関との連絡調整も行います。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在は保護者間の交流の時間は作れていません。今後は保護者の方の希望や意見を取り入れながら座談会などのかたちで開くことも検討していきたいと思っています。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	法人の苦情対応マニュアルを作成しております。また、苦情解決までの流れを施設入口付近に掲示しております。また、受け付けた苦情などはお便り等で公開することも検討します。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	すがの便りを発行し、子どもの活動の様子が保護者の方に伝えられるようにしています。
	35 個人情報に十分注意しているか	利用開始時に個人情報に関する同意書いただいております。また、職員は入職時に守秘義務に関する誓約をしています。個人記録等の保管場所は鍵のかかる場所の設定等、改善していく必要があります。
	36 障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	障害に応じたコミュニケーションの方法を検討し、用いるようにしています。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	毎年9月に法人全体のお祭りをおこなっています。事業所の近隣にもポスター貼付をお願いする等、地域の方のご来場を呼び掛けています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	『緊急時の対応確認・同意書』や感染症流行期にマニュアルの一部を抜粋した内容を含めた通知を出すなど周知に努めている。防犯マニュアルについては現在検討中です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に危険、救出その他必要な訓練を行っているか	年に2回、防災訓練を実施しています。うち1回は消防署員の立会いを受けて実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	毎年、長野県が実施する虐待防止・権利擁護の研修に参加した職員による伝達研修を行っています。起きてしまった虐待に関しては法人ホームページ上に公表しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束廃止に関する指針を作成し、取り組んでいます。現在のところ身体拘束が必要なケースはもちろん、身体拘束が要否の検討に至ったケースはありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食物アレルギーに関して医師の指示書が発行されている児童はいません。保護者からのアレルギーの情報は取得に努め、対応するようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット、事故報告書を作成し、報告書ごとに対応を検討しています。また、法人内事業所で発生したケースもすべての職員が確認できるように整備しています。

<b>II. 保護者等へのアンケート</b>						
評価実施期間： H30.11.20～H30.12.3 実施方法： 配布→手渡し、送付配布 回収→無記名事業所宛て 回収数/配布数： 10 / 16						
	項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	
環境・体制整	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	40.0%	30.0%	30.0%	もう少し広さがあつたらいい
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	70.0%	30.0%		



準備	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20.0%	30.0%	50.0%	・段差が多いと感じました。 ・入口付近にできてしまう水たまりがもう少し改善されればよいのかなと思います。 ※無回答あり
	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	90.0%	10.0%		
適切な支援の提供	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	80.0%	20.0%		・身体を動かす活動(室内、屋外)をもう少し取り入れてもらいたい。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20.0%	20.0%	60.0%	・知らないだけかもしれないが機会はない。 ・障害のない子どもと活動する機会を特別に作っていただかなくても大丈夫です。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	90.0%	10.0%		
保護者への説明等	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	70.0%	20.0%	10.0%	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	40.0%	10.0%	50.0%	・面談等はないです。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20.0%	20.0%	60.0%	・ほとんど会う機会がないです。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20.0%	20.0%	60.0%	・苦情の内容を知る機会がない。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	50.0%	50.0%		

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	90.0%	10.0%		
	14	個人情報に十分注意しているか	80.0%	20.0%		
非常時の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	70.0%	30.0%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	80.0%	20.0%		・子ども達は訓練を行ってもらっていますが、その後の保護者への引渡し方法などの訓練はありません。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100.0%			・長期休みもよろこんで通ってくれてとても助かっています。
	18	事業所の支援に満足しているか	90.0%	10.0%		・感謝しています。

### Ⅲ. 総評

「子どもは通所を楽しみにしているか」の問いに対し、すべての保護者の方から「はい」と答えていただき本当にありがとうございます。一方、環境(建物、設備)の面では改善が必要と感じられている保護者の方が多く、事業所としてだけでなく法人としての課題として検討をしていきたいと思ひます。

その他、保護者等へのアンケートでは保護者のみなさまの率直な意見をいただくことができました。また、アンケートだけではなく、直接保護者の方と事業所と意見交換ができるような座談会の開催などさらに開かれた事業所を目指したいと思ひます。

今回、アンケートにご協力頂いた保護者の皆さまに心から感謝いたします。本当にありがとうございました。自己評価ならびに保護者等のアンケート結果をよりよい支援につなげていけるように活用していきたいと思ひます。